

令和5年度「南区まちづくり活動サポート事業」実施事業一覧

No.	提案団体	事業名	事業概要	委託料 (単位:千円)
1	大郷地区コミュニティ協議会	『困ったときはお互い様』ひろがれ人の和・地域の輪	地域住民が広く顔のみえる(わかる)関係を深め、できるだけ多くの人と顔見知りになり、小学校区である大郷と鷺巻の住民がともに参加できる事業(地域劇団、畑作と地域食堂を企画)を行い、『困ったときはお互い様』のおもいをはぐくむ。	434
2	新飯田コミュニティ協議会	地域で守るふるさとの景色と収穫祭	地域ボランティアによって1年を通し管理、整備され、良寛和尚・有願和尚が俳句を作った場所でありなど歴史もある「ふれあいパーク有願の里公園」。この公園を地域内外から多く知ってもらい、また新飯田の農産物も知ってもらうために収穫祭の開催やイルミネーションで飾ることで地域外からの人口の流入を図りたい。	251
3	味方地区コミュニティ協議会	あじかた食の歴史ロマン隊	先人たちが開墾した大地の恵みである農作物、中の口川が育んだ鮭やマス・川カニ、郷土の料理であるた塩引き団子など、当地域には独自に発達した食文化がある。またそれらの特異性を活かし地元の特産物を始め全国からストーリー性の高い食を仕入れるなど、SNSを活用して繁盛している、当地域の小さなスーパーもあります。このような地域で活躍する食の人材を活用して、味方小中学校で地域食文化の歴史と生活形態や食文化がどのように発展してきたかの学びを提供する。	434
4	コミュニティ茨曾根	茨曾根マルシェinサマーフェスティバル2023	多世代交流を目的に、地域の方が自分達で考えて出店し参加するフリーマーケットのあるサマーフェスティバルを開催し地域の活性化を図る。また子ども達を地域で育てる取り組みとして、果樹農家で出る撥ね果実や余った野菜を子ども達がマルシェで販売する事で、自分達の住んでいる地域の繋がりを学び愛着心を育む。	434
5	大通子ども食堂運営委員会	食育を通した「第3の居場所」の提供と「地域のつながりづくり」	「孤食」の解消 「つながり」の創生 メディアや専門家が警鐘を鳴らしている「孤食」。子ども達の「孤食」を解消するため、子ども食堂を立ち上げ、「温かい食事」と「安心して過ごせる居場所」を提供することで、さまざまな食体験や大人との信頼関係の構築、コミュニケーションスキルのアップなどに貢献する。	279
6	庄瀬地域コミュニティ協議会	温故知新 ～愛するまち庄瀬	賑わいがあった頃の庄瀬の商店街の様子や当時の地域民の生活や習慣などを掘り起こし、伝承するための資料を作成する。 郷土史には載っていないような住民目線のエピソードを集め、庄瀬の歴史を楽しく学び、また、これからの地域活性化を考えるヒントを模索する。	234
7	秋は南区！フェスタ実行委委員会	地域ポータルサイト「(仮称)南区ナビ」の制作	区内には精力的に活動している団体があるが活動内容やイベント情報を知らせる手段が限られているほか、地域情報を集約した情報源がなく、南区の魅力を広く発信する媒体が必要。 地域の頑張っている団体やその活動を紹介し、参加者やメンバーの増加をはじめとする活動への寄与するとともに、観光情報等の南区の魅力を発信することで、南区の交流人口拡大を目的に地域情報を広く扱うポータルサイトを制作する。	430
計				2,496